



書家 加藤裕さん作『久遠』

真宗高田派  
賢隆山久遠寺

〒460-0007

名古屋市中区新栄1-4-6

Tel &amp; fax 052-241-5231

[www.kuonji.net](http://www.kuonji.net)

Kenryuzan-kuonji@nifty.com

久遠寺住職の

# いま不思議ないのちを生きている!



久遠寺境内の桜

久遠寺境内の桜も四月半ばを過ぎ、ようやく咲き始め、春の訪れを感じられる季節となりました。全国的な天候不順により寒い時期が長かったため、積雪量も多くなり、土砂災害などの被害もありました。

一年前の三月十一日、東日本大震災での津波、原発、そして放射能の汚染により東北や周辺地域の人々の生活が一変しました。今まで安全と信じていたことが覆され、何が安全で、何が危ないのか、報告のないまま、現在も安心できない日々を過ごしております。

振り返ってみますと、人間は便利で速く、また過去の人々がしてきた生活苦勞から抜け出せるように、快適な生活を目指して理想の社会を作ろうとしました。その為に自然を利用しエネルギーを消費した結果、雨や風による土砂崩れ、産業廃棄物による温暖化が誘発されたのだと

思います。このような総合的な汚染を生み出したのも、実は人間の都合でしかなかったのであらうと今思っています。この代償は海陸などの地球上すべての生物のいのちを少しずつ奪っているということが現実でありましょう。

科学技術の恩恵は量り知れませんが、便利になり、快適になればなるほど本当の幸せから離れ、ありのままの事実を見ることから遠ざかっているように感じます。冬は寒い、夏は暑いなど四季の変化も感じるものが少なくなりつづいています。このような背景の根底には科学技術に頼り、技術を作り出した人間が、人間そのものの分限を知らねばならないと思います。

恵蝓春秋を知らず」の如く、夏に生まれた蟬は夏しか知らない故に、春秋など知るはずがありません。人間も一緒で、今の自分しかわからないのに、人間の分限は分かるはずがないのです。過去の人々のいのちの歴史、またあらゆる生物のいのちのつながりで生かされている事実があるわけですから。そのことに気付かされ、目覚めた時に初めて分限に気付くことができるのではないのでしょうか。その分限が、自然の中で生きる責任であり、また使命なのではないでしょうか。

この度の自然災害と人間の知識の災禍である原発事故によつて、生と死を同時に持っている人間であることに改めて気付きましょう。また亡くなられた人々の自然との共生の願いを受け継いでいけるようにしたいものです。

久遠寺住職 高山元智 合掌



# 法語カレンダーを味わう!!

四月

本願力にあいぬれば

むなしくすぐる

ひとぞやなき、

仏のこころをいかに衆生の土に実現するか切なる願いは、どのようにして建立せられ、どのようにして我々衆生に届くのでしょうか。人間が思い描く願いは自分の思い都合で変化し、本当の願いではありません。生まれてから自分の知識で考えた願いでなく、いのちそのものの本当の願いを呼び覚まし、明らかにして下さるのが本願であります。人間は一生懸命聞いても、勉強しても何かの拍子で不安に陥ります。空しさを感じた時、考えても理解できない自分の限界を知る時、その空しさ、苦しさを通して他力と言うは、如来の本願力なり」と示されるのです。それは、自分の思いから起るのではなく、自分の思いを超えたところからの本当の願いであります。その本当の願いに遇えた時、人間も自分のはからい(分別)に目覚め、それしかない世界に安住するのであります。

五月

極重の悪人は

ただ

仏を称すべし

真宗で申す「悪人」とは人間の作った法律を犯した罪人のことではなく、目覚めの問題であります。善人とは、自分が生きていることが正しいと思い、自分の思いや都合を満足させる為、他を苦しめ、他の悲しみを省みない者のことを言います。

では悪人とは何か。それは動植物のいのちを獲り、他の人に迷惑をかけずにおられない、善いと思つてやた行為が他を傷付け、苦しめて、いることに気付く者のことです。その者の傍で本当の自分であるか」と問いかけてくる如来はたつきがあるのです。

この目覚めに遇うには、先人の方の生きるといふ本当の意味をただ聞かせて頂くことに他ありません。



六月

ただ如来に

まかせまいらせ

おわしますべく候う

例えば病気で入院し、病氣の名前は分かっているても自分の能力ではどうすることもできません。しかし病氣の原因を知っている医者の先生に任せる時は、自分の知識への疑いは後に絶たず、全て医者の先生に任せる自力無効の瞬間であります。そのこそ覚者が自分で生きているのではない、生かされている我が身である気が付かれます。

前住職が入院している際、私は尋ねたことがあります。お父さん、死は怖くないか?するとこう答えたのです。わしは如来に信じてある」と。この言葉は今この瞬間にもよく思い出される光景であります。

これこそ 無能の私をして、私たらしむる能力の根本本体が即ち如来である「清沢満之」ということを感ぜずにはおれません。私を私として受け止められた感動の言葉であると思います。

『ろは歌』

いろはにはへど ちりぬるを  
わかよたれそ ねならむ  
うるのおくやま けふこえて  
あさきゆめみし ゑひもせず

☆漢字や濁音を入れると  
色は匂へど 散りぬるを  
我が世誰ぞ 常ならむ  
有為の奥山 今日越えて  
浅き夢見し 酔ひもせず

要約  
香り高く美しく咲いている花もいつかは散ってしまう。この世の私たちの誰もが、ずっと同じままではいられない。迷いの多い人生という険しい山を、今日も超えて、儚い夢などみない。酔ってもいいのに。

中日新聞 2月26日掲載  
最古の歌かな いろは唄より

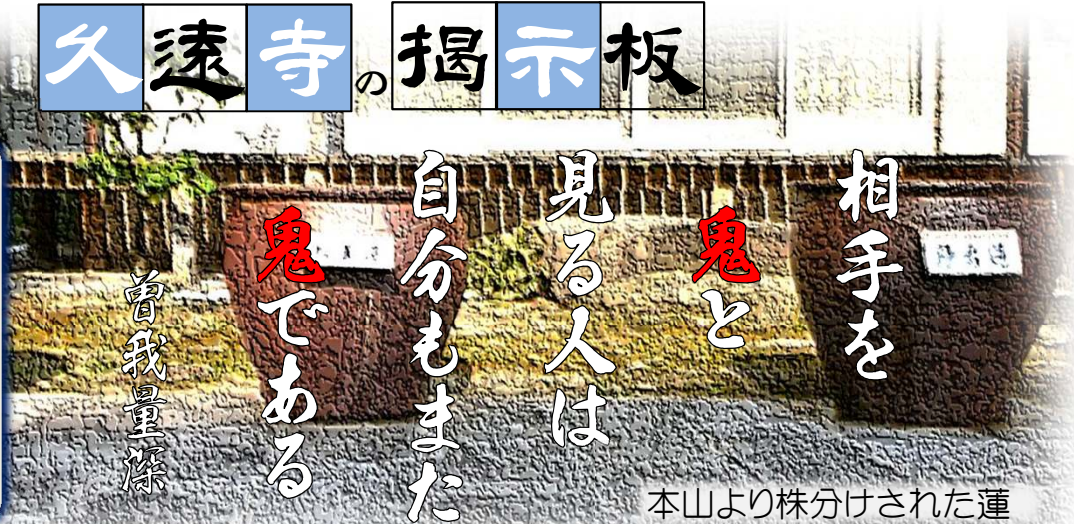
かの有名な『ろは歌』からも我が身を省みる心を覗いてみる事ができます。  
生物は生かされているまゝを生きています。人間は他が悪いと思ひ自分を省みません。悪いと思ふ心、苦しむ心の原因は自分の心から起きていることに気付きたいものです。



# 久遠寺の掲示板



久遠寺正門に設置してある掲示板法語は月に二回ほど更新しております。法語に含ませて当寺住職の味わいをお楽しみ下さい。



相手を

鬼と

見る人は

自分もまた

鬼である

曾我量深

本山より株分けされた蓮

長編連載『忍の響き』

久遠寺檀家の一員さん

昔から鉄は熱い内に打て、という格言もあります。此の頃の学校も土曜日まで休日になり、子供達もゆとり教育か知りませんが、完成した人にはゆとりも必要でしようが、これからは花も咲き、実もなる子供達です。せめて土曜日の半日でも道徳・人の歩むべき行いを習得させてはと思います。肉親の刃傷沙汰や子供同士のいじめ等の記事を見ない日が無い位、暗く荒んだ世相となっております。法治国の日本です。法に沿って行動することは当たり前でしょう。最近、学校給食を子供が当然食べているにも拘らず、義務教育だから」と勝手な自己判断で代金を払わなかったり、「子供の嗜好品を出してほしい」と悪態・無体を言う親まで居ると、聞くに至っては聞いた口がすばみません。回塊の世代の今の親をも再教育を要するように思われます。人の肉体も核分裂で変化して行くように、心も乖応の進化が必要です。そうした親の中には学校も駄の場と勘違いしているかと思えます。

次回へ続く

## 仏教クイズ

あなたはいくつ答えられる？

1、今年高田本山で勤められた遠忌。今年で何回忌にあたる？

- ①七百回 ②八百回
- ③七百五十回 ④五十回

2、遠忌では特別にお聖人のお姿の御像を運びました。どこから運びましたか？

- ①専修寺本寺 ②善光寺
- ③比叡山 ④宝物館

3、特別に運び込まれたお聖人様の御像を何と呼ぶ？

- ①真向の御影
- ②等身の御影
- ③鏡の御影
- ④安城の御影

4、遠忌と呼ばれる大法要。次に勤められるのは何年後になる？

- ①十年後 ②二十年後
- ③五十年後 ④百年後

5、今回勤められた高田派の「遠忌のスローガン」は？

- ①聖人のみもとに帰ろう
- ②世の中安穏なれ

答えは、このページの左下！

## マイ念珠を製作しました！

「マイ念珠を結びませんか？」念珠製作会を二月十六日に開催しました。十五名ほどの檀家さまお連れさまでワイワイと念珠を結ばせて頂きました。かなりお時間を頂戴してしまいましたが、最後は完成と同時に安堵と喜びの声を聞くことができました。

予想以上に、大変だったお念珠作り。完成後は、作られたお念珠で本堂にお参りして頂きました。そして最後に記念撮影。皆様の笑顔をしてもらいました。

大変だったけど、楽しかった。そんな感想のお言葉を頂戴しました。僕自身もこの言葉に尽きると感じております。また今後頑張つて製作されたお念珠でお参りされる姿を見ると喜びも一塩だと思えます。今回の企画に不参加だった方も、是非次回はお参加下さい。



安堵の集合写真(下)と、製作風景(上)



## 遠忌報恩大法会にお参りに行きました！



4月11日(水)あいにくの雨での参詣



各寺檀信徒の皆様で満堂の御影堂



雨の為、出発前に久遠寺本堂で集合写真撮影

花散らしの雨が降る中、ご本山でお勤めの開山聖人七百五十回遠忌報恩大法会に久遠寺檀信徒団体参詣参加者46名の方とお参りしてきました！御影堂の中は満堂！さすがに遠忌という雰囲気でした。

この日は真宗十派の各ご門主さまが直接ご焼香下さる「直香」の日。各派ご門主さまたちを短い間に拝見するのは、大変貴重な体験でした。そしてお勤めが終了し、「法話へ。久遠寺檀信徒の皆様はちゃんと法話まで聴聞して下さいました。」

その後の昼食は、檀信徒の村田様経営の大須「八起」様からお弁当を早朝に作って頂いたもので、皆様とともに休憩所で頂戴しました。このお弁当が大変好評で、本当に喜んでおいしく食べさせて頂きました。

こうして無事、団体参詣を終えることが出来ました。会計の方や、旗を持ち、自主的に団体の列をまとめつて下さった方、そして何よりご参加下さったお一人お一人がちゃんと時間を守り、自主的にすべて動いて下さったおかげで、何事もなくお参りすることができました。本当に感謝しております。

五十年に一度の法要のご縁に皆様とともに参りできたことは本当に有難いことと思います。また今回参加できなかった方も次のご縁に是非参加して頂きたく思います。本当に尊いご縁を頂きました。

久遠寺衆徒 南無阿弥陀仏  
高山信雄

## 編集後記

三月初旬に高田本山より株分けされた蓮を三種類頂戴してきました。

蓮は元より仏教と縁深い花であります。泥の中よりきれいな花を咲かせる姿は、我々が仏様の教えを聞かせて頂き、仏と成ることを連想させるよつです。

成長する姿から何か感じる事が出来れば幸いと思い、日々お世話をしております。本堂前に御座いますので、是非ご来寺の際にはご覧下さい。

南無阿弥陀仏  
衆徒 高山信雄

- ◎ 久遠寺HP & blogも随時更新中です。是非お時間のある時にご覧ください。
- ◎ 寺報記事も随時募集中です。ご協力お願い致します。
- ◎ お経本・お念珠は大切なものです。床に直接置かないように気を付けましょう。

## 今後の予定

8月10日(金)  
午前8:00～

歡喜会 お金)  
**墓参り**  
☆皆様の御参詣を心より  
お待ちしております。

平和公園墓地

7月未定  
午後1:30～

真宗入門法話会②  
**和讃のこころ**  
～副題未定～

久遠寺本堂

6月19日(火)  
午後1:30～

真宗入門法話会①  
**和讃のこころ**  
～道緯禅师～

久遠寺本堂

5月22日(火)  
午後1:30～

真宗入門法話会②  
**和讃のこころ**  
～雲鷲大師2～

久遠寺本堂

是非皆様お揃いで御参詣ください。